



光多 長温

都市化研究公室理事長

コンセクション考

して知られるが、戦前より定し、公営有料道路制度金負担を求める制度となり道路事業に並々ならぬ事業意欲を持っていた。として道路整備特別会計をもそも、わが国の道路（後に日本道路公団に引き継ぎ）が予定された。弱であり、戦争時においてこの公営有料道路制度の創設とともに、1952年「道路運送法」が制定され、その中で民間事業者による「自動車道事業」が構想され、特に、東京の制度が創設されたが、神戸間自動車道建設の背景に五島の政治力がある

五島は、1959年病没したが、同年日本道路公団に第三京浜道路の建設が認められ、65年全線が開通した。現在、1日平均14万台の通行量があり、東日本高速道路株式会社（以下、東道）のドル箱路線ともなっている。これら経緯からも今回の愛知県道路公社のコンセクション化の意義は大きい。

コンセクションは、利用者から利用料金を徴収する公共施設を対象に、施設の所有権を公共機関に残したまま、その運営権を民間に売却し、この運営を民間企業が行う方式であり、2011年11月施行の改正PFI法で実現した。政府は、これの導入を推進する方針で、コンセクション事業の重点分野として、空港、上下水道、道路、文教施設、公営住宅、クルーズ船向け旅客ターミナル施設、MICE施設をノミネットしている。しかし、現状、空港を除いては、期待されたほどの導入実績を挙げるに至っていない。

今一つというこの背景、戦後公職追放された。五島は公職追放解除後、東急電鉄会長になると同時に東京横濱間の道路建設及び運営に熱意を燃やす。この頃、五島は「伊豆観光開発の要諦は、東京から二時間以内で伊豆に到達できることである」とも言っている。

波乱万丈の人生で知られたその事業手腕をいかんなく発揮する。五島は、鉄道事業者と路整備特別措置法」を制限に過渡的に受益者に料

今一つというこの背景、戦後公職追放された。五島は公職追放解除後、東急電鉄会長になると同時に東京横濱間の道路建設及び運営に熱意を燃やす。この頃、五島は「伊豆観光開発の要諦は、東京から二時間以内で伊豆に到達できることである」とも言っている。

波乱万丈の人生で知られたその事業手腕をいかんなく発揮する。五島は、鉄道事業者と路整備特別措置法」を制限に過渡的に受益者に料

波乱万丈の人生で知られたその事業手腕をいかんなく発揮する。五島は、鉄道事業者と路整備特別措置法」を制限に過渡的に受益者に料

波乱万丈の人生で知られたその事業手腕をいかんなく発揮する。五島は、鉄道事業者と路整備特別措置法」を制限に過渡的に受益者に料

波乱万丈の人生で知られたその事業手腕をいかんなく発揮する。五島は、鉄道事業者と路整備特別措置法」を制限に過渡的に受益者に料